

研究教育業績（過去5年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) 木村孟淳, 船山信次, 磯田道史 (2019) 長井長義の父, 長井琳章が所有した和刻本「本草綱目」. 薬史学雑誌, **54**: 120-125.
- 2) Tanaka N, Takizawa T, Tanaka R, Okano S, Funayama S, Iwasaki T (2019) Pilot prescription survey of antineoplastic agents: real-world data from veterinary teaching hospitals in Japan. *Veterinary Medicine and Science.*, **5**: 297-306.
- 3) Lin C-H, Funayama S, Peng S-F, Kuo C-L, Chung J-G (2018) The ethanol extraction of prepared *Psoralea corylifolia* induces apoptosis and autophagy and alters genes expression assayed by cDNA microarray in human prostate cancer PC-3 cells. *Environmental Toxicology.* 1-19.
- 4) Lin C-H, Chan H-S, Tsay H-S, Funayama S, Kuo C-L, and Chung J-G (2017) Ethyl acetate fraction from methanol extraction of *Vitis thunbergii* var. *taiwaniana* induced G₀/G₁ phase arrest *via* inhibition of cyclins D and E and induction of apoptosis through caspase-dependent and -independent pathways in human prostate carcinoma DU145 cells. *Environmental Toxicology.* 1-11.
- 5) Tanaka N, Takizawa T, Miyamoto N, Funayama S, Tanaka R, Okano S, Iwasaki T (2017) *Vet. Rec.*, **4**(1): published online (Sept. 26, 2017).
- 6) 船山信次 (2017) 正倉院薬物「雄黄」と鳩毒との関係について-その形状は鳩の卵の暗示か? 日本薬科大学研究教育紀要. III : 1-6.

[総説]

- 1) 船山信次 (2020) 自然界の毒を医療に応用する, 医学のあゆみ. **275** (12, 13):1282-1283
- 2) 船山信次 (2020) 有用植物から危険ドラッグまで-大麻と人間. *Clinical Neuroscience.* **38**(8): 1021-1024
- 3) 船山信次 (2018) 毒と薬と人類の歩み. NHK 文化センターにおける世界史再発見「大人の教養講座」資料全 72 頁
- 4) 船山信次 (2017) わが国に見られる植物に由来する神経毒. *Clinical Neuroscience.* **35**(12): 1432-1439
- 5) 船山信次 (2017) 蛇蝎 (だかつ) や毒草をも薬と成す-薬毒同源. 化学と教育. **65**(5): 220-223
- 6) 船山信次 (2016) アサと麻と大麻-有用植物から危険ドラッグまで. ファルマシア. **52**(9): 827-83
- 7) 船山信次 (2016) 毒とは何か-生物毒と人間, milsil (ミルシル) /国立科学博物館. **9**(4): 6-71)

[著書]

- 1) 船山信次, 絵でわかる薬のしくみ, 講談社 (2020年1月24日)
- 2) 船山信次, 毒, PHP 研究所 (2019年10月14日)
- 3) 船山信次 (監修), 世界毒草百科図鑑, 原書房 (2018年10月17日)
- 4) 船山信次 (監修), 生物毒の科学, エクスナレッジ (2018年9月1日)
- 5) 船山信次 (分担執筆), スパイス百科 (丁宗鐵編著), 丸善出版 (2018年1月30日), 175-182 頁
- 6) 船山信次, 毒と薬の文化史, 慶応義塾大学出版会 (2017年11月10日)
- 7) 船山信次 (原著), 毒と薬の世界史 (ハングル版), AK Trivia Book, 韓国 (2017年9月20日)
- 8) 船山信次, 毒をもつ生き物たち, PHP 研究所 (2017年9月4日)
- 9) 船山信次, 毒! 生と死を惑乱, さくら舎 (2016年8月7日)

[その他/共著本・主な雑誌や新聞記事など]

- 1) 船山信次, 垂水雄二 (2020) 「毒」から考える歴史・進化・新薬. 公研, 58 卷 (3), 34-53 頁
- 2) 船山信次 (2019) 怖いけど気になる「毒」の世界. ニュートン (*Newton*), **39** (11), 110-117
- 3) 船山信次 (2019) 未来を探る:使い方を誤ると大変ー毒にも薬にも. 東京新聞 2019年6月17日(月)号
- 4) 船山信次, 菅野純 (2019) 毒と薬の不思議な関係ー薬は毒からつくられる? ニュートン (*Newton*) 別冊, 20-27 頁
- 5) 船山信次 (2017) 植物の毒. *Fieler*, **35**(10), 54-59 頁
- 6) 船山信次 (2017) 毒について. 讀賣新聞, 2017年2月14日号
- 7) 船山信次 (2017) 専門家はメディアの求めに対してどう答えるべきか. 日本サイエンスコミュニケーション誌, 7(1), 18-21
- 8) 船山信次 (2017) あなたの身近にひそむ「毒」. PHP からだスマイル, 54~59 頁, 2017年1月号

2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) Funayama S (2019) Poisons and Medicines of the Tempyo Era in Japan, International Convention of The Pharmaceutical Society of Korea, Millennium Seoul Hilton, Republic of KOREA, 2019年4月25日

[国内学会]

- 1) 江戸清人, 小出芳夫, 船山信次, 安藤崇仁 (2019) 超天然物ネオカルチノスタチン・クロモフォアの構造決定に寄与した機器分析の進歩. 日本薬史学会 2019 年会 (岐阜)
- 2) 木村孟淳, 船山信次, 磯田道文 (2017) 長井長義の父長井琳章所有の「本草綱目」. 日本薬史学会 2017 年会 (埼玉)
- 3) 船山信次 (2017) 毒と薬と食物ー薬毒同源. 第 28 回日本微量元素学会学術集会特別講演 (仙台)

3. その他特筆すべき研究業績

1) 日本薬史学会常任理事 2017年4月～

2) 日本薬史学会 2017年会 (埼玉) 年会長として 2017年10月28日開催

・日本薬史学会として担当している以下に記載するファルマシア掲載の日本薬学会史年表の執筆を行なった／折原裕，五位野雅彦，近藤晃司，齋藤充生，鈴木達彦，西川隆，船山信次，御影雅幸，三澤美和，宮本法子，森本和滋，ジュリア・ヨング (2017) 日本薬学会史年表 (続) 2011～2015年。ファルマシア，53巻 (1)，87-97頁

II. 教育業績

1. 担当授業科目

2017年度

- ・天然物化学 (2年生)
- ・漢方生薬化学 (4年生)
- ・有機化学実習 (2年生)
- ・薬学総合演習 (4・5・6年生) 6コマ
- ・早期体験学習 (1年生) 5コマ
- ・卒業研究 (5・6年生)

2016年度

- ・天然物化学 (2年生)
- ・漢方生薬化学 (4年生)
- ・薬学総合演習 (4・5・6年生) 5コマ
- ・早期体験学習 (1年生) 5コマ
- ・卒業研究 (5・6年生)

2. その他特筆すべき教育業績

1) 日本薬科大学薬用植物園園長として『薬草園の花だより』を連載中 (2017年6月～不定期) /2017年6月～2021年3月までに第1号～第27号まで発行。また、(公財)日本植物園協会第四分野が令和元年 (2019年) 5月1日に刊行された『薬草ガイドブックー薬草園へのいざない』に、日本薬科大学薬用植物園園長として以下のコラムを執筆した。

・船山信次 (2019) 薬草と毒草の間ー薬毒同源。薬草ガイドブックー薬草園へのいざない、23

2) 日本薬科大学木村孟淳記念漢方資料館館長として資料を収集したり、収蔵資料展示設備の整備、および展示資料の整理をしたりした。また、次の紹介文を執筆した。

・船山信次 (2018) 木村孟淳記念漢方資料館。都薬雑誌，40(3)，29-32

3) 日本薬科大学図書館長として『図書館だより』を連載 (2015年5月～2017年3月30日) /2016年4月～2017年3月の期間は第7号～第12号を発行。

4) 日本薬用植物友の会会報 (社会教育活動) /年2回『新・薬草木よもやま話』を連載中/2017年4月～2020年3月中の記事 (『新・薬草木よもやま話』12～18 および「巻頭言」) は以下の通り。

- ・船山信次 (2020) 万葉集の毒と薬 [3] . 日本薬用植物友の会会報第 128 号, 7-13 頁
 - ・船山信次 (2020) 万葉集の毒と薬 [2] . 日本薬用植物友の会会報第 127 号, 4-10 頁
 - ・船山信次 (2019) 万葉集の毒と薬 [1] . 日本薬用植物友の会会報第 126 号, 2-8 頁
 - ・船山信次 (2019) 様々な出会いと毒草・薬草の語り部の誕生 (巻頭言) . 日本薬用植物友の会会報第 125 号, 1 頁
 - ・船山信次 (2018) 冬の園芸植物と毒草・薬草. 日本薬用植物友の会会報第 124 号, 2-13 頁
 - ・船山信次 (2018) 秋の園芸植物と毒草・薬草. 日本薬用植物友の会会報第 123 号, 14-24 頁
 - ・船山信次 (2017) 夏の園芸植物と毒草・薬草. 日本薬用植物友の会会報第 122 号, 5-12 頁
 - ・船山信次 (2017) 春の園芸植物と毒草・薬草. 日本薬用植物友の会会報第 121 号, 17-25 頁
- 5) 次の入学試験問題に著書の一部が採用された
- ・船山信次 (2020) , 国語長文問題 (船山信次著『毒』PHP 新書より) , 兵庫大学入学試験. 兵庫大学, 4-10 頁
- 6) テレビ・ラジオ番組への出演や監修など
- ・AbemaTV, BAY FM, ジャパンFM, フジテレビ, NHK, 日本テレビ, テレビ朝日, TBS (アルファベット順) などの放送に出演や番組の監修をした. とくに, この期間, 日本テレビの「THE! 世界仰天ニュース」には 5 回出演・監修している. また, 下記の NHK カルチャー講座による講演「毒と薬と人類の歩み」は, NHK ラジオ第二放送カルチャーラジオ番組「毒と薬の歴史をひも解く」に発展し, 2019 年 1 月 4 日~3 月 29 日の間, 毎週金曜日の午後 8 時 30 分~9 時 00 分の間, 計 13 回出演した. この番組は好評につき, 2020 年 4 月から 7 月に渡り再放送された.
- 7) 新聞・週刊誌への執筆・監修・取材対応など
- ・朝日新聞, 岩手日日, 産経新聞, スポーツ日本, 東京新聞 (中京新聞), 毎日新聞, 読売新聞 (50 音順), 週刊ポストなどの記事を書いたり, 記事として取り上げられたり, 記事の監修を行ったりした. 東京新聞 2019 年 6 月 17 日号では「毒にも薬にも一使い方を誤ると大変」が写真入りで大きく (半頁超) とりあげられた. また, 毎日新聞 2019 年 5 月 9 日号の「ウチの教授」欄に, 「植物の『毒』を生かす」という題にて写真入りで取り上げられたりもした.
- 8) 講演会・観察会など (この期間に講演会や薬用植物観察会などを数十回実施している)
- ・主なものとしては以下の他, 一関 (一関博物館 2019 年 11 月), 神戸 (地方衛生研究所全国協議会 2019 年 11 月), 日本薬史学会関西支部 (大阪 2019 年 11 月) などにて実施した.
 - ・2018 年には, 東京都港区南青山の NHK 文化センターにおいて開催されている世界史再発見「大人の教養講座」の連続講演を担当し「毒と薬と人類の歩み」と題して, 2018 年 11 月 7 日~12 月 12 日の間, 毎週 1 回の計 6 回の講演を行なった. この講演は上記のように, ラジオ第二放送の番組「毒と薬の歴史をひも解く」へと発展した.
 - ・2019 年 6 月 1 日には, 東京薬科大学薬用植物園・第 50 回記念薬用植物園公開講座にて「薬用植物を楽しむ」として講演, 参加者は 260 名だった.

以上